

人権擁護のためのセルフチェックリスト集計

みつとも保育園

2024年

	子ども一人ひとりの人格を尊重しないかかわり	物事を強要するようなかかわり 脅迫的な言葉がけ	罰を与える 乱暴なかかわり	一人ひとりの子どもの育ちや家庭環境を考慮しないかかわり	差別的なかかわり	平均
	「していない」の割合	「していない」の割合	「していない」の割合	「していない」の割合	「していない」の割合	
平均	83.2%	65.0%	86.4%	90.2%	83.6%	81.7%

「している/したことがある」が5人以上いた項目(全34名)

子ども一人ひとりの人格を尊重しないかかわり

人数

子どもが友だちをたたく等、良くないことをした際に、執拗に攻めるような言葉がけをする	6
子どもが保育者に話しかけた際、「いま忙しいから後にして」と言う	12
苦手なことを渋っている子に「早くやって。できないなら後ろに行って。」と言ったり、他者と比較したりなど、否定的な言葉がけをする	5
自分から訴えてトイレに行くことができるようになった子どもに対して「おしっこ出ない」と訴えていてもトイレに行くよう促す	10

物事を強要するようなかかわり・脅迫的な言葉がけ

集団行動をするための言葉がけをした際、言葉がけを聞かない子どもに「〇〇しないなら〇〇できないからね」と言葉をかける	17
寝ずに話をしている子どもに対して、外で寝るように言ったり、布団を友だちの布団と離して敷いたりする	16
どなったり「〇〇しなさい」との言葉や子どもが怖がるもの(鬼等)を使ったりして、子どもを保育者の思い通りに動かそうとする	14

罰を与える・乱暴なかかわり

並ぶときなどに、子どもの自発的行動を待てず、腕を掴んで引っ張る	9
---------------------------------	---

一人ひとりの子どもの育ちや家庭環境を考慮しないかかわり

「お休みの日にどこに行ったかお話して」との問いかけについて、クラスの子どもたち『全員』に発表してもらう	7
---	---

差別的なかかわり

いつまでも泣いている男の子に、「男の子だからいつまでも泣かない」や、乱暴な言葉遣いをする女の子に「女の子だからそんな言葉を使ったらいけない」と注意する	6
少食の子に対して、子どもの意見を聞かず、初めから非常に量を少なくして配膳する	13

*言葉かけについて

- ・おもちゃの片付けが終わらない子へ「片付けないとお外に出れないよ」→「早く片づけてお外で遊ぼうね」と言い方を変えるように気を付けたい
- ・がんばったことはしっかりほめて自信のつく声掛けしている
- ・してみよう、できたらいいなという言い方をするようにしている
- ・どうしてもない時、鬼さんを作ってしまうことがあるので、従わせず声掛けを続ける
- ・早く寝てほしい、早く食べてほしいと心の中で思ってしまうことがあるのでそれが表に出ないようにこれからもがんばります
- ・行動を強要するような言葉かけをしてしまうことがあるので、自ら行動できる言葉に変えようと思う
- ・言葉がまだ理解できない子に対しても肯定的な言葉かけを行い、やる気につなげたい
- ・保護者へは嬉しかったことは共感しあい、協力を促したい時は言葉を選んで伝えていきたい

*行動について

- ・時に自分の感情が出てしまうが、落ち着いて関わるようにしたい
- ・一人ひとりペースが違うので子どもに合わせた対応をすることを今後も目標としていきたい
- ・気になる子に関わる時に差別的な関わりをしないよう平等にすることを心掛ける
- ・つい目立っている子に言葉をかけがちなので全ての子に目配りをするのが大事だと改めて思った
- ・年齢が大きくなると、お互いに理由があつてのトラブル(複雑な心境のこともある)なので、関わり方にをよく配慮する必要がある
- ・頭をポンポンと触って人数確認することがあったり何気ない動作に気を付ける
- ・子ども達が保育園は楽しい場所だと思える雰囲気や関わり方を大切にしていきたい
- ・時間に余裕を持ちたい
- ・おしっこが出ないと言う子どもに対して、大人の都合で接している時がある
- ・午睡時、おしゃべりが多い子の布団を動かすことがあった。納得いく言葉かけをしたい
- ・かみつきの人を傷つける行動に対してすぐ対応できるように保育にあたりたい
- ・少食の子へ最初から少なめに提供していたが認識を改めたい
- ・もし差別的なかわりをしているようなことが見られたら園児をフォローし、保育者に対しても声掛けを行っていききたいと思う

***全体を通して**

- ・振り返ることで自分を見つめ直す時間ができて良かった
- ・自分の利点欠点を再確認し、より良い保育を行っていくことの重要性を考えさせられた
- ・チェックリストの項目にいくつか疑問がある。保育はいろんな面から考えないといけないので、例えば「バスに乗る前にトイレに促す」等はやむを得ない場合もあることを考慮してほしい。保育園は集団生活なので、その子だけでなく周りの子への影響も考えなくてはならない

***まとめ**

- ・過去の保育を振り返り、反省することや今後配慮していきたいことが分かるアンケートなので今後の保育にいかしていく。
- ・全て100%とはいかなくても100%に近づけられるように、自分の保育を見直す必要がある。
- ・暴力はふるわない、言葉で伝えることを心に置いて保育する。カッとなってしまった時は、自分で怒りを抑える方法をいくつか持っておくことで子どもも保育者も心が楽になる。
- ・子どもを差別することなく(例えば、特定の子にだけ声をかける等)みんな平等に接する。
- ・フォローが必要な子や配慮が必要な子への関わりに偏りがちだと感じるが、他の子を見る余裕を持っておきたい。
- ・子どもの気持ちを考えた上で、声掛けをしているが、日々の忙しさの中で子どもの話を聞けないこともある。一旦立ち止まってしっかり話を聞く余裕を持てるようになりたい。
- ・危険な行動や場面においては口調を強くはっきり伝えることも、子どもに危険な行為だと知らせる為にも必要なこともあるだろう。
- ・保護者対応は、周りのことを気にしてうまく必要なことを伝えられていないのではないかと感じることもある。伝えたほうがいいことはきちんと伝えていくことを心掛けたい。

***園長より**

職種に関わらず、他の人の行動を注意すべきと感じた時は、さらっと言えるような環境をお互い作りたいものです。全員で全員の子どもに目を向け職員同士の風通しを良くしましょう。今もとても良い雰囲気だと思います。よく笑い声が聞こえていますね。子どもも大人もみんなが気持ちよく過ごせる保育園でありたいです。皆さんいつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします！